

# 特集

## 見て、触れて、話して オーストラリア訪問

### 第11回 中学生海外派遣

町では、平成11年から21世紀を担う子どもたちの国際交流活動を促進し、国際感覚を身につけた人材を育成するため、中学生を海外に派遣してきました。

今年は、8月6日から13日までの8日間、生徒22名がオーストラリアのケアンズに派遣されました。

参加した生徒たちは、「ホームステイ」や「学校訪問」などの交流活動を通して、外国の文化や歴史、生活習慣などに直接触れ、共に生きていくことの意義を学びました。また、自分の考えや意思を言葉によって表現するコミュニケーションの大切さや、国際理解のための英語力の必要性を感じ取るなど、貴重な体験をしました。参加した生徒の皆さんに海外派遣後の感想を聞きましたので、ここに紹介します。



ウォーラー・ステイト・ハイスクールでの集合写真

### 全日程表

日時	月日	宿泊等	スケジュール
1	8/6(金)	上三川町 成田空港 (機中泊)	午後2時出発式後成田空港 オーストラリア・ケアンズへ
2	8/7(土)	ケアンズ着 (ホームステイ)	ホストファミリーと対面式 ホストファミリーデー
3	8/8(日)	ケアンズ郊外	ホストファミリーデー
4	8/9(月)	ケアンズ郊外	学校訪問・体験授業
5	8/10(火)	ケアンズ郊外	学校訪問・体験授業
6	8/11(水)	ケアンズ	グリーン島研修 (世界遺産グレートバリアリーフ)
7	8/12(木)	ケアンズ	キュランダ村研修 (世界遺産ディンツリーフォレスト及びアボリジニの文化)
8	8/13(金)	ケアンズ 成田空港 上三川町	空路、ケアンズから成田空港へ バスで上三川町へ

### 参加生徒

所属名	氏名
本郷中学校	渡辺 紗里奈
	塚田 方智
	原 暢子
	渡辺 萌生
	野沢 由季恵
	上岡 真愛奈
上三川中学校	石塚 結貴
	川島 明日香
	清水 香穂
	稲葉 零菜
	上野 紗也加
	濱野 真有沙
	植田 莉加
	那花 萌香
明治中学校	鶴時 颯汰
	津田 航平
	稲葉 未怜
	銭本 果歩
	井筒 瑠奈
	山本 環
	中島 由貴
	野口 れん怜

# 特集

- 上岡 真愛奈**
- ①想像以上に美しく豊かな自然を目にすることができた。日本の学校や暮らしとの違いを学ぶことができた。
  - ②外国の人と話すことが少し自分に自信がついたので、より多くの外国人とお話ができるようになりたい。
  - ③本当の 英会話とは、これなのか、いつかはなりたい、あのようになりたい。
- 塚田 万智**
- ①日常生活の中で家族の一員としての責任や人と協力することの大切さを改めて認識した。
  - ②英語をもっとたくさん勉強して、将来社会に出たときに国内に限らず、世界で活躍できるようになりたい。
  - ③異国の 言葉の形、違いや、やっばり通じる、心づく

今回の研修にあたって、  
 ①この研修で学んだことは何ですか？  
 ②今後どう活かしていきたいですか？  
 ③今回の研修で一番印象に残っていることを短歌で表現してください。

と参加者に3つの質問をし、回答をいただきました。



ケアンズの生徒と共に授業聴講

- 野沢 由季恵**
- ①人とのつながりを得た。そしてたくさんのお話をした中で、前より英語が身に付いた。
  - ②この経験をきっかけにもっともともと英語を勉強し、うまくなって、外国の人ともかかわれるようにしたい。
  - ③みんながね、一つになれたよ、踊ったら、日本の文化、ソーラン節を
- 原 暢子**
- ①これからの英語力を向上させる目標を得られた。また、バディとホームステイ先の人と深い絆を得られた。
  - ②まだ将来の夢をなやんでいて、英語を使う職業もいかなと思っている。この経験を役立てられればと思う。

- ③厚かった 言葉の壁も 薄くなり 住んでみたいな オーストラリア
- 渡辺 紗里奈**
- ①言葉が上手く通じないことがあったとしても互いに相手を思いやる気持ちがあれば、心が通じ合うこと。
  - ②人々の優しさから多くのことを学んだので、将来は私が、優しい心を持って人を支えられるようになりたい。
  - ③ありがとう、第二の家族と、別れの日、みんな抱き合い、心結ばれ
- 渡辺 萌生**
- ①ホームステイ先などで様々な問題が発生したときに、自分自身で解決できるように努力する力を得た。
  - ②積極的に英語が話せるようになったので、もっともって勉強して、自分の中にある言葉の壁をなくしたい。
  - ③外国人と、話すのやはり、はずかしい、だけどみんな、私の友達
- 石塚 結貴**
- ①アボリジニなどの先住民族の知恵を見学して文化や風習の大切さを学んだ。
  - ②ホームステイや学校訪問での経験を活かして、人とのコミュニケーションを円滑にしていきたい。
  - ③光る海、夏の思い出、忘れない、第一のふるさと、オーストラリア
- 稲葉 零菜**
- ①他国の生活や文化、食の違いについて学んだ。国境を越え、理解し合う事が大切



いっしょに『よさこいかみのかわ』

- 切なんだと思った。
  - ②貴重な経験を、これからの自分の将来の支えにしていきたい。そして経験を忘れずに役立てていきたい。
  - ③グリーン島、心に刻む、シュノーケル、オーストラリアの、豊かな自然
- 植田 莉加**
- ①英語でのコミュニケーション能力や協力することの大切さや他人にもフレンドリーになると楽しいということ。
  - ②将来、海外で仕事をするところがあるかもしれないので、今回の研修の失敗を見直し、良かった事をフルに活かしたい。
  - ③広い海、広い大地に、広い空、心あつたが、オーストラリア

# 特集

## 上野 紗也加

① 国の文化を理解する事ができた。また、英語による「コミュニケーション」の大切さを学ぶ事ができた。

② 貴重な体験をさせていただき、今後の将来のために英語をたくさん利用し、国際社会をきわめていきたい。

③ ホームステイ 異国に行っても あたたかい 家族のキスナ みんなの笑顔

## 川島 明日香

① 自分の意見はしっかりと行って相手に分かってもらおう事や、知らない人でも話せば友達になり仲良くなれる。

② 珊瑚礁のために海をきれいにする活動をしているので、日本でも海にゴミなどを捨てない事を伝えていきたい。

③ ありがとう 最高の夏 ケアンズよ 写真を見れば また思い出す

## 清水 香穂

① 友達を大切に作る広い心や自分一人で何事も成し得た事への自信と、外国語を口にする勇氣。

② これからは国際交流が「我が国でも発達し英語が必要になってくるのでそのよつなときに日本の役に立ちたい。

③ 人々へ 感謝の気持ちを 忘れずに 英語で話せる 充実感

## 濱野 真有沙

① 足りないところは自分の努力でカバーができるという事。そして、身振り手振りは大切だなと思った。

② 英語の大切さを実感したのもっと英語を勉強して世界の人と話せるようになりたいと皆さんの知識を積みたい。

③ どんな時でも 笑っていたね 仲間達 太陽よりも 輝いていた

## 那花 萌香

① 自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを理解できたりしたときの喜びやすばらしさを改めて感じた。

② 自分と違った生活や考え方に対して、広い心で受けとめ、相手を尊重しながら生活していきたい。

③ かたことの 英語で答え 通じ合う 喜び満ちる ホームステイ



ホームステイ先の  
ホストファミリーと

## 井筒 瑠奈

① コミュニケーションをとることの大切さ。異なった環境の中で生活していくのはとても大変でした。

② この貴重な経験をさせてもらったことに感謝し、さらに英語の学習に力を入れたいと思います。

③ ホームステイ ファミリーと過ごす 貴重な時間 オーストラリアは 第二のふるさと

## 稲葉 未怜

① 言葉はちがっても心を通じ合い、それぞれの思いを大切にして尊重し合う気持ち。

② 普段の生活の中で英語を使う機会は少ないけれど、英語の授業はしっかりと耳をかたむけ勉強に励んでいきたい。

③ ホームステイ 初めての経験 不安だが 楽しい時間 あつという間だった

## 錢本 果歩

① 自分から積極的に行動すれば、言葉や国が違っていても気持ちや考えは通じる事。

② 日本だけでなく世界へ視野を広げ、色々な人の考えを聞き入れられる人になりたい。

③ 夏の日に 胸ドキドキし 豪の地で 人海・山の すてきな思い出

## 津田 航平

① 今までは、人に頼ってばかりだったけど誰も手伝ってくれない環境で自分が

率先してやるという気持ちになった。

② 今後の人生の中で、外国人と接する機会があると思うので今回の研修で学んだことを活かしていきたい。

③ たくさんの 良い仲間たちと 巡り合い 有意義だった 学校訪問

## 鶴時 颯汰

① 英語力はもちろん、相手に聞かれた時などの対応の仕方を学んだ。

② 何事にもひるまず挑戦し、一歩踏み出せるよう努力するとともに語学力を高め、社会に貢献したい。

③ 水清き 今なお残る 大自然 空気もきれい 心もきれい



キュランダ村で記念植樹

## 特集

中島 由貴

①オーストラリアに短い期間ながら滞在することができて、英語力の向上につながった。

②自分の英語の力がどれくらいなのか分かったので、これからは、これを基にして、勉強にはげみたい。

③ひらひらと 青色の羽を はばたかせ 優雅に空を 飛ぶユーリス

野口 怜

①自分が好きで、一生懸命努力し続けてきた歌や音楽は、言葉の壁を越えて相手の心に届くことを知った。

②言葉だけでなく深く理解し合える知識や経験を増やし、表現力を高め、「コミュニケーション能力を向上させたい。」

③ホームステイ、心に残る 思い出は

シーナと歌った When you wish

upon a star

山本 環

①コミュニケーション力が得られた。言語が違ってても会話をすることが良いことじゃないかと思う。

②「コミュニケーション力が得られたので、これから外国の方などともっと話したい。」

③ホームステイ 家族とふれあい 過ごした時間 数えきれない 幸せな時間

## 大きな財産そして感謝

団長 隅内 和男(上三川中学校教頭)

上三川町第11回中学生海外派遣事業は、町内3中学校、22名の生徒が参加して実施されました。

ホームステイでは、生活習慣の違いに戸惑いながらも、心遣いともてなしを受けて、心温まる体験ができました。また学校訪問ではウォーリーステートハイスクール(中・高一貫校)の生徒とペアを組んで授業を受けたり、交歓会での様々な活動を通して貴重な体験ができました。また世界遺産のグレートバリアリーフや熱帯雨林地帯の見学などで、視野を大きく広げることができたと思います。

今回の派遣は、彼らにとって将来への大きな財産となったと思います。そして、上三川町の発展に貢献できるすばらしい町民として成長してくれることと思います。最後に、今回の派遣事業を支えてくださった多くの皆様に彼らとともに深く感謝申し上げます。



ハイスクールで説明をする隅内団長

## 報告会

8月25日(水)に報告会が、上三川いきいきプラザで開催されました。

今回の海外派遣に同行した先生方や添乗員の方からは、中学生の行動などに「町の代表として参加している意識が十分に満ちていた」と生徒の前向きでポジティブな姿勢を大いに評価しておりました。



貴重な体験を報告する生徒

貴重な体験をした中学生たちは、「ホストファミリーとの交流を通し、日本と違う文化や習慣があり、人と理解し合うことの大切さを肌で感じた。」「感謝の気持ちを日常なことから伝えることの大切さを改めて学んだ。」など、直接試みて新たに自分たちの生活や環境について考えを広げることができたようです。また、「世界の人と係わるきっかけは英語であると気づいた。」「英語力を高める目標ができた。」など、さらに国際理解を深めるためには語学力強化が必要であることを経験したようです。

篠原教育長からは、「学んだことを学校生活、家庭・地域生活や将来の生活に役立ててほしい。また日本人がもっている良い点や自分の良さを理解し、自信をもって活躍してほしい。」と参加した中学生への期待を込めた言葉がかけられ、締めくくられました。

▼問い合わせ先＝教育総務課 学校教育係 ☎(56)9155